

刊夕日二廿月九

# 常警每日新聞

定価一冊五銭 一月五拾五銭 郵税別  
廣告料五號十二字 第一行五拾五銭  
日曜祭日の日休刊  
發行所 常警毎日新聞社  
〒三三三 平野町三丁目  
電話 六〇〇  
印刷所 常警毎日印刷株式会社  
〒三三三 平野町三丁目

## 可憐・犠牲の死

(愛谷堰の少年溺死を辯ず)

緒形濱治

堰番人の爺さんは此江筋に就いて二人の少年に次ぎの様に語つて聞かせた『これは今より二百年程前澤村勘兵衛といふ人が目論んで水守治右衛門といふ人が堀り上げたついでに話だ、そして今は夏井の村長さんが監督をして青木さんが一切の世話をしてゐるんだ、こんな日本に三つしかない、堰をこしらへたのも村長さんと青木さんがウンと骨を折つたからだ、青木さんはあのやかましやで通つて居る人だ、やかましくないと子供等がいたづらをしてたりあぶないまねをしたりするからだ』そして『ぢや今一押だ頼むよ』の聲に二少年は早や鐵扉の端に肩を入れて、けなげにも細き足をふん張つた、そして爺やの掛聲に一押しと押し上げれば水壓の減つた鐵扉は忽ち

### ノート

泥はね、歯みがき、白粉、煤煙、白微等はそのまま乾かしビロード羅紗布で刷き除く

自動の本能を顯して跳ね上り、今までゴウ、ゴウ、水煙を立てた流水も堰止められて江筋は見る／＼洋々たる流と化した。折も折『スハ大變』と關守の飛鳥の如く飛

## 病窓偶感

耕影

空の魔に死線を越えて銀河河牙ゆ影細り月に寂しき我姿更生の鋭氣溢れて秋高し

だが、此非常時に臨める村人の憤怒は吊きつぶしても開けず置くものか、はづさずに置くものか、押す引く開けるの一致協力、さすがに深く喰ひ込みし鐵扉も衆人の和には敵しかねて微かに間を開いたので、夫れ此時と瀬戸屋の主人は飛びすがりて抱き下ろし忽ちに温き母の懷に抱かせました、紅に染みし可憐の體は是が母の懷とも知るや知らずや只安からぬ眠を續けるのみでありました。

地相 家相 人事 百定  
平野 高野 島野 澤野  
前易 堂野 前易 堂野  
所象 断定 所象 断定

九月廿三日壬辰二黒大安厄  
【白】遠方取引より福利を得る日目上と相談上は尙ほ吉成亥と辰己は凶【一】運氣滯滞の日なれば病氣怪俄紛失に注意して現状維持が吉【三】營業取引上利を得る日擴張問題は目上と相談吉成亥と辰己凶【四】我が望事に猛進して凶を醸す事あれば謙遜以て進むに吉東西凶【五】物事延々して目的不調の日病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【六】我營業擴張に苦勞して後日利を得る水火の難に注意南北凶【七】勢して後日功を得る日なればどん／＼進んで吉只水火の難に注意する事南北凶【八】我が望事進んで吉利を得る日怪俄紛失盜難未申と丑寅凶【九】金は手に入り貰ひ物あると云ふ吉なり只家内に口舌を起す勿れ東西凶

### 木村外科醫院

門專科病柳花外  
院醫科外村木  
際橋目丁五町平  
〇九三話電

### 黒小倉通學服賣出

冬服の御用意をなさいましたか  
弊店は御満足の頂ける黒小倉服を  
澤山取揃へ特価にてお務めしております

小学生用(長ズボン付)	
A	90
B	1.10
特製	2.50
中学生用	
特製 6號	3.50
御注文	6.80

ふかや洋服店 平野 三三三 電話 203

### 耳鼻咽喉科専門

氣管食道科  
大和田醫院  
平南町(電話一七〇番)

### 秋!

爽かな秋の旅を不二の車で  
日光鬼怒温泉附近案内一部差上げます  
不二タクシー  
電話 32番

### 金銀高價買入

各國時計・眼鏡・貴金屬  
御修繕は専門の當店へ  
根本時計店  
平二(電話六〇七番)

### 三井タクシー

夏から秋・冬へ!!!  
「衣裳御着替」  
特に勉強致します  
旭屋 一六銀行  
平三丁目 電話四二五番

# 魚群に出會

## 最初の網を投ぐ

### 秋刀魚無電の第一報

既報石城郡小名濱水産試験場の磐城丸は秋刀魚漁解禁の昨廿一日早くも釜石沖漁場の調査を行ったが同日午後二時試験場に入った漁況第一報は無電に依ると魚群は釜石沖合三百五十哩の海に在り本郡下の出漁船二十餘隻は昨廿一日正午頃漁場に到着午後より網入れを行つて作業を開始した模様である

受驗特別教授 磐城中では上級學校受驗者の爲め毎日午前六時より始業前二時間宛特別教授を行ふ管であつたが汽車通學生其他の都合に依り結局來月一日より従來通り放課後に行ふ事に變更した尙同校では從來あまり行はなかつた模擬試験を今年度からは週末一度宛行ひ極力指導すると

# 平第三校増築の...

## 竣工式を舉行する

既報工費一万余圓を以つて工事中の平第三小學校の二階上げ増築は去る十七日竣工したので町役場では本月下旬關係者を招いて竣工式を行ふべく準備中

明治神宮豫選籃球大會に出場の爲め今朝大淵教諭に引卒され平五時四十二分發にて大會場目指して出發したが出場選手は左の如くである

# 救濟事業

## 事務打合せ

石城郡各町村共済委員の第二回評議員會は來月一日午前十時より内郷村磐城炭礦淺野頌徳記念館に於いて開き救濟事業の事務打合せを行ふ

# 磐中籠球選手

籠球部では明日福島市に於て開催される縣下中籠球校

(背泳)五十米、百米、二百米リレー

# 水泳選手出發

既報磐中水泳部では來る二十四日水高主催の下に開催される近縣中等學校水泳大會に出場すべく猛練習中であつたが選手等は二十四日午後五時三十分にて谷澤・中柴兩教授に引率され出發すると

# 磐中辯論

## 廿九日大會

磐中に於ける秋季辯論大會は來る二十九日午前九時より同校講堂に開催されると教授研究例會 石城第三區第一方面教授研究會は來る二十五日内郷第二小學校に於て開催されると

# 代表炭鑛から

## 國防研究寄附

石城郡内の代表炭鑛たる磐城、入山兩炭鑛では五十圓宛、古河、小田兩炭鑛は三十圓宛合計百六十圓を國防思想の普及を圖る爲め平國防研究會基本金にと寄附申出た

# 土木委員協議

平町では來る廿五日午後一時より役場會議室に土木委員會を開き町有地の競賣其他の件に就いて協議すると

# 巖谷先生!

川崎小鳥

彼れは是れ十年前近くなるが、秋の頃と覺えて居る先生が相馬の有志に招かれて、松川浦の舟遊をなされた事がある、僕もお供を云ひ付かつて三日ばかり中村に滞在したが、其時先生を景慕する相馬中學の一教諭が宿を訪問されて、相馬焼の本舖田代家に案内され

# 平町人事

△田町四五 大河原孝貞丸

氏長女 俊子  
△舊城跡一 鈴木壽保吉氏  
三男一郎  
回死 亡  
△舊城跡一 豊治氏 孫鈴  
木一郎(一ツ)

# 美味! 芳醇!

## 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

# 美味で!

評判の...

## イワキ サロン

電 352

# 純郷土 草汁

●原稿募集—短篇小説、短歌詩俳句、民謡等

發行所 草汁堂  
千葉縣山武郡公平村求名二四八  
福島縣平町胡摩澤一七七  
申込所 福島縣平支部 窪田志朗

# 貸切の御用命は!!!

## 獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ... (マツサキ)

### 三九二タクシーへ!!!

# 磐城共済病院

電話(六四)二二四番

小兒科	院長 石山謙郎
婦產科	副院長 五十嵐雄二
皮膚性病科	部長 有馬勇二郎
耳鼻咽喉科	部長 石山謙郎
X光線科	部長 石山謙郎
物理療法科	部長 石山謙郎
藥劑科	部長 石山謙郎
衛生試驗所	部長 石山謙郎

# 時代ハ有價證券デス

手輕ナ理想的六分五厘配當當社ノ御利用ヲ乞フ。

簡單ニ金融モ致シマス。各地出張所代理店募集。高級社員招聘

## 帝都證券株式平支部

平町白銀町松崎ビル内  
東京モリス會社 全然別會社デ關係有リトセン  
誤解ノ無イ様願ヒマス。

### 家人への面當てに 九十の老婆が縊首

#### 口論の揚句無断で家出

石城郡入遠野村字諏訪大樂  
こう(八)は去る十七日朝家  
人と口論の末無断で家出  
たので家人が心配して探し  
廻つた處廿日朝附近の山林  
内で縊死を遂げて居るのを  
発見したと

### 曾我氏揮毫

#### 「尚武」の 額を道場へ

平第一小學校では今回の剣  
道部新設が退職された曾我  
直治氏の貢献に依る處多い  
ので斯道奨励の爲め同氏に  
揮毫を乞ふた尚武の額を道  
場の中央に掲げる事になつ  
た

### 秋の遠足

#### 平第一校で

平第一小學校では二十六日  
左の如く秋季遠足運動會を  
催すと

一年 内郷村権現山 二  
年 同一之矢神社 三年  
平窪二本松 四年 同大  
室山 五年 豊間村沼之  
内辨天様 六年 大浦村  
最勝院 高等科 關伽井  
嶽水石山

### 錨に巻れ

#### 人夫が重傷

石城郡江名町字ノ作漁港

坂居住坑夫(長之助)は  
字濱井場四號の三加々美藤  
三(三)字金坂七三坑夫佐々  
木豊吉(三)字町ノ内四五荒  
木キヨ(三)字宮澤六二吉川  
幸太郎(三)の六名が車座と  
なつて丁半賭博の開帳中を  
密行中の平署員に踏込まれ  
一網打盡に檢査された

#### 内弟子と駈落

東京  
市荏原區小山町中延二〇〇  
山本祐次郎(三)は本年五月  
頃より生花師匠をして居る  
妻キミイの内弟子神谷トキ  
(三)と懇ろになり同女を連  
れて去る十八日平方面に駈  
落したと本日平署に捜査方  
を願出た

#### 丁半賭博檢舉

石城  
郡内郷村大字綴字町ノ内六  
五青木元壽(三)方で昨廿一  
日午後十時頃より同人外高  
を願出た

### 藝妓の身の代を 情夫が拐帶逃走

#### 玉川屋からの訴へに依り 平署手配して捕ふ

南會津郡檜原村字大内佐藤  
藤右衛門(三)は去る十日平  
町鍛冶町藝妓屋玉川方に情  
婦の阿部カネヨ(三)を藝者  
に住み込ませる約束で前借  
金三百圓を受取つた儘逃走  
したので訴へにより平署で  
手配の結果昨廿一日双葉郡  
浪江町で捕はれた

### 出品書入畫

#### 本日磐中生へ

既報磐中美術部から滿洲事  
變勸發二週年の爲め第二師  
團司令部に於て催された記  
念繪畫展覽會に出品した内  
入賞メダル及び賞状を本日

### 入札米延期

#### 希望者が少い

既報石城販賣利用組會平農  
業倉庫の共同販米は本廿二  
日執行の筈であつたが入札  
米が少ないので延期された

#### 衛生幹部改選

石城  
郡好間村衛生實行組合では  
来る廿五日午後一時より同

### 明日のラジオ

廿二日

今晩はも北東の風  
晴曇半し明日は南  
東の風雲

### 今晩の部

後六、〇〇(子供の時間)  
校歌と寮歌 第二高等學  
校明善寮生 山本武夫外  
後六、二五 基礎佛語講座  
(四) テキスト 目黒三郎  
後七、三〇 講演  
後八、〇〇 尺八本曲 奥  
洲鈴慕一菊地淡水 高賀  
後八、二〇 舞臺劇 高賀  
十曲之内「忠節女夫松」澤  
村宗十郎一座  
後九、三〇 時報ニュース  
氣象通報 番組豫告

### 明日の部

前七、三〇 佛教講座「妙  
法蓮華經如來寺量品偈」  
(四) 清水谷泰順  
前九、三〇(子供の時間)  
前一一、〇〇(仙臺一中)  
前一一、〇〇 宗教講座  
文學博士 境野黃洋  
前一一、〇〇 趣味講座  
「美術の秋」 鍋井克之  
前一一、〇〇 講演「歐米  
交通行脚」名古屋高商教  
授 郡菊之木

#### 曾我氏慰勞會

平第  
一小學校に於ける現、舊職  
員は本日午後五時より過般  
退職された曾我直治氏を招  
き公園とさわ亭に於て慰勞  
會を催すと

#### 兩村青年總會

石城  
郡神谷村青年總會は明廿  
三日午前九時より又鹿島村  
青年總會は同日午後一時  
より夫々小學校に於いて開  
られるが郡農會柴田技手  
は兩總會に農事講演を行ふ  
と

### 卒業生体験を語る

#### 商工研究會主催座談會

卒業生の實務指導の爲め設  
けられた平商業學校第九回  
商工研究會は来る十月七日  
午後七時より二丁目庶民金  
庫樓上に於て開かれ職業上  
の体験商業經營及び工業の  
智識に關する座談會を催す  
と

### 裁判所だより

△石城郡山田村大字富澤高  
木金兵衛(三)を棍棒で毆打  
遂に死亡せしめた同村大平  
武(三)に對する傷害致死事  
案

△山形縣南村山郡生れ目下  
住居不定無職長沼富治(三)  
が去る三月二十八日頃より  
四月三日頃迄の間石城郡内  
郷村大字内町水の出渡邊勇  
藏外八ヶ所より前後十二回  
に亘り現金其他價格四圓二  
十錢を窃取した事件の公判  
は本日午前十時より平區裁  
判所に於て中島判事係り清  
田檢事立會の下に開廷事實  
訊問の上檢事より懲役六ヶ  
月を求刑されたが判事より  
懲役一年を言渡された

### 平職業紹介所報告

● 回人を求める方  
● 看護婦見習 二十以下  
● 高卒 月三圓(双葉郡某)  
● 商店員 十八才 尋卒  
● 仕着外三圓(内郷村東)  
● 仕出し見習 十五才 尋  
● 卒 給料面談(平町某)  
● 牛乳配達 十八才 尋卒  
● 月七八圓(平町某)

● 回職を求める方  
● 事務員 二十七才 佐賢  
● 半退(平町某)  
● 蒸氣機關手 二十六才  
● 高卒 給料面談(平町某)  
● 測量 四十五才 工手校  
● 卒 給料面談(神谷村某)  
● 事務員 三十才 中卒  
● 給料面談(平町某)

### シボレーに!

御愛乗下さい  
そは先驅者なり

# 新録 剣道

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演  
山本英春畫

第四十七回

血に飢ゆる村正

醜男では勳一等

此方は本多唐之亮、早速切腹の御沙汰を都築武助へ仰せ付けられました。然る處聊かな手違ひにて武助は退散いたしましたとの事に殿様は愈々御立腹を増し、此上は月番老中へ許へ人相畫姿を以つて都築武助の行衛を吟味いたせとまで仰せられましたのを家老老中御袖へ縋り、様々御意見を申上たので、然らば老中共へ沙汰をして人相書を以つて吟味を致す事は猶豫して遣はず其の變り當家の家來を以つて詮議いたし見當り次第、召捕へて立歸れとあつて、五人一組三人一組で總体で百人からの人を毎日出して盛り場などの吟味を仰せ付けられました。然る處調へる若侍と云ふのは大体都築武助の門弟であるからみんな畏まつたとお受けして出るやうなもの、眞正に調べる者はございません。都築が浅草の方へ行つたと聞けば、麻布の方へ人数を出す様に致しますから、夫では却々押へる事が出来ません、一日武助は退屈ゆえ木場の方へ来て釣をして居りました處へ、本多の若侍三

四人が之を見付け  
甲「中山那所に居るのは武助先生ぢやないか」  
乙「然うよ、武助先生だ」



丙「どうしやう捕方に向はうか」  
甲「夫だから貴様は馬鹿といふのだ、我々が五人や

一杯やりませう  
といはれ三人は飛ぶが如くに逃げ出すが武助は「オーイ」と聲を掛

けて追掛けて行く物事は反對、三人は虎の口を逃れた様な心地で漸々本多の屋敷へ歸りました。此んなものを何千人募つても役に立つことではございません。扱て武助は二十日餘り江戸表にゐて見ましたが斯う云ふ事をして居ては殿様へ對しておそれあり、且つ出来る話も出来まいと思ひ、正徳の四年八月の下旬に相成り、仲間長助へは暇を出して、愈々江戸を立ち退く時に、暫らく先祖の墓詣りも出来ないからと深川の靈岸寺へ參つて、墓參を致した事情を話し當分參詣にも来る事が出来ないから、何分宜しく頼む、就いては輕少だが供養料だと云つて五兩の金子を出しました。住職も氣の毒に思ひ「一日も早く歸參の叶ふやう及ばずながら御盡力を致さう」と云つて呉れました。そこで武助は身一つの氣樂な身體になり武藝修行を致さんと時しも九月の末つかた江戸表を出立いたし中仙道を上ります心底丁度戸田の渡しまで掛りました。今は便利に相成り渡し場だの關所などがなくなりましてのでどの位か道も歩みますが、昔は渡し一里とか申しまして少し待つて居る中に一里位の道は後れて了ひます。武助は出船を待たうと思ひ葎張りの茶屋へ這入り

で目かつちで其の上頭の毛が些かございませぬ、殊に身粉などには構はない人故風体が餘程悪うございませぬ、何れとも客の事ゆえ爺「へ、此方の床几へお掛けなさいませう」  
武「まだ船は急に出ないか」  
爺「イエエ、間はございませぬ」  
と話の中に茶を酌で參りませぬ、武助が今茶を呑んで居る所へ這入つて来たは商人風の男で、顔を見ると黒あばたがあつてひつたりだらけで、頭の毛は前に五十本ばかり、右の鬘が三十本、左の鬘が四十本、後に四五本もあらうか實に其の面といふものは化物のやうでございまして鐵網へ滯紙を貼つて其の上へ薄く醬油を掛けて陰干しになした立の時に大雨に掛けて破れた所へ双紙の端で繕ぎを宛て屋根へ上つて干して居るのを驚かされて溝へ落し夫を又干上て鑢削が引掻いたやうな妙な顔色でございませぬ、武助も醜男の方では引けはとるまいと思つて居た處へ這入つて来た町人は實に醜男の勳一等だ、武助は思はずと吹き出した

正木織物店ノ生命也  
絹織物ノ正木織物店へ  
開業三十五週年を祝するため  
二割引にて大々的勉強御註文に應ず  
御註文ノ時ハ(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス  
平町字新町貳貳番(公園下)

白生地 正木織物店  
賃織販賣

小兒科。内科  
特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。  
平町 ねずみ坂  
渡邊醫院  
電話一六一番

毛糸  
今年度新色全部揃へました。  
何卒御来店下さい。  
合名 会社 ハシモトヤ糸店  
平町 電話十四番

外務社員採用  
初任固定給 月三十圓  
二十五才以上男女を問はず  
履歷書携帶左記へ面談。毎日午後  
平町田町一七  
レストランサロン方  
仁壽生命平駐在 吉田仁三郎  
電話三五二番

見習看護婦募集  
(平町某醫院)  
姓名在社